

令和 8 年度

業 務 （ 起 工 ） 設 計 書

業 務 名：道路附属物点検業務
業務場所：東伯郡琴浦町地内

道路付属物点検業務 特記仕様書

1 適用範囲

本業務の履行にあたっては、本仕様書のほか総点検実施要領(案)〔道路標識、道路照明施設、道路情報提供装置編〕(平成 25 年 2 月 国土交通省 道路局 以下、「本要領」という。)によるものとする。

2 目的

本業務は、道路法(昭和 27 年法律第 180 号)第 3 条に規定する道路における道路付属物のうち、琴浦町が管理する道路標識・道路照明施設・道路情報提供装置(以下「標識等」という。)について、落下や倒壊による第三者被害を防止する観点から、標識等の基部、柱等の異常および変状など、施設の健全性の点検を行うことを目的とする。

3 業務概要

(1) 業務名 道路付属物点検業務

(2) 業務場所 東伯郡琴浦町地内

4 点検対象

本業務の対象となる標識等の基数は、16 基とする。対象標識は道路標識 1 8～3 3 とし、それぞれ別途地図の青枠に位置している。

なお、協議等により数の増減が発生する場合等は、町と協議するものとし、設計変更の対象とする。点検部位、点検項目については、本要領による。

5 履行期間

本業務の履行期間は契約日から令和 9 年 2 月 2 6 日とする。

6 業務内容

(1) 計画準備

受注者は業務の目的・主旨を把握した上で業務の内容を確認し業務計画を立て、業務計画書を作成し、監督員に提出しなければならない。

(2) 標識等の点検

琴浦町が管理している標識等のうち、第三者被害が大きくなる恐れが高い施設及び路線を優先的に行うものとし、本体、接続部及び支柱基部を近接目視等で点検し、点検記録票(総括票)、点検記録表(損傷記録表)、点検結果一覧表、位置図を作成する。又、点検中に異常を把握した場合は、可能な限り応急処置を行わなければならない。

なお、点検は本要領を参考として実施する。

(3) 報告書の作成

上記の調査結果を取り纏め、製本した報告書を作成する。

7 協 議

本業務の実施に当たり、本仕様書、契約図書等に明示なき事項又は本仕様書、契約図書等に関し疑義を生じた事項については、必要に応じて双方協議して定めるものとする。

8 打合せ

本業務遂行のための打合せは、初回、中間、成果品納入時に行うものとし、その時期については監督職員の指示に従うものとする。また、初回及び成果品納入時には必ず管理技術者が立ち会うものとする。

9 貸与資料

本業務に係る必要な次の資料は、発注者より貸与するものとする。

(1) 道路台帳

(2) その他、発注者が所有する資料のうち双方協議により必要と認められたもの

10 関係官公庁への手続等

本業務の履行のために必要な関係官公庁その他に対する諸手続については、監督職員と打合せの上、請負者の責任において迅速に処理すること。

11 交通安全管理

本業務に当たっては、交通状況を十分に把握し、道路交通法等を遵守し、調査員はもとより第三者に危害を及ぼさないよう万全の処置を講じなければならない。本業務に起因して第三者に危害を及ぼした場合は、受注者の責任において全て対応しなければならない。

12 疑義等

業務を遂行する上で疑義を生じた場合は、監督職員と協議し、速やかに処理すること。

13 成果品

調査報告書・・・1部

電子データ・・・1式